

## 第4回 碓井中学校区義務教育学校開校準備委員会 会議録

1. 審議会等の名称 第4回 碓井中学校区義務教育学校開校準備委員会
2. 開催日時 令和3年10月12日（金）午後7時00分から午後8時30分まで
3. 開催場所 嘉麻市役所碓井総合支所2階 会議室4
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
6. 出席者
  - (1) 委員  
会長 末吉進一  
副会長 高松美紀  
委員 田中小織、松隈 進、永田秀彦、坂田雅量、松岡琢磨、藤井久仁子  
欠席者 田中眞美、大山晴美、中村一宏
  - (2) 事務局  
教育総務課長 赤坂 晋、教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 山口陽子  
嘉麻市教育研究所 平田賢一郎
7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
8. 議題及び協議の内容

### 【議題】

- 1 学校名称の決定について
- 2 校章について
- 3 校歌について
- 4 その他

### 【審議の内容】

- 1 学校名称の決定について  
○学校名称の決定について、レジュメに沿って説明を行った。（事務局）
- 2 校章について  
○校章について、資料に沿って説明を行った。（事務局）  
次のような意見が出た。（委員）  
○義務教育学校になることへの期待や愛着を持たせるためにも、公募が良いと思う。  
○学校名称を公募したように、校章も公募が良い。公募をすることで、碓井義務教育学校について子ども達や地域の方々に関心を持ってもらえると思う。  
○子ども達の自由な発想を公募したい。  
○公募を行った場合、応募が無かった場合の代替案はあるのか。  
→いまのところ応募が無かった場合の代替案は想定していない。

- 公募を行うにあたっては、学校イメージなどの条件提示をした方がいいと思う。
- 先入観を持たせずに柔軟性を持った公募にしたい。
- 真剣に公募をされる方は、学校や地域や教育目標なども自分で調べて、デザインされてくるだろう。イメージ的なものをあらかじめ植え付けるのではなく、自由な発想で校章を応募してもらう方が良く思う。
- 校章については、提案のとおり公募を行うこととする。
- 校章の募集デザインの内容については、条件を設けないものとする。

### 3 校歌について

- 校歌について、資料に沿って説明を行った。(事務局)
- 次のような意見が出た。(委員)
- 現行の校歌について一部編曲を行うことは可能か。
  - 基本的には、著作権があるので無作為に変更を行うことはできない。しかし、学校名称の変更に伴う歌詞の変更については、やむを得ない変更として著作権的にも認められるものだろう。
- 小学校校歌は1番から4番まであって、中学校でも十分生かせる内容だと思う。ただ、音程が高くて歌声が出ていないところがあった。編曲をして歌いやすく、口ずさみたくなるような校歌にできるか。
- 小学校校歌と中学校校歌を第1校歌・第2校歌とした場合は、どういう使い方をするのか。
- 中学校校歌の歌詞が難しいため児童が歌うには歌詞の意味が分からず、心を込めた歌が歌えないのではないか。
- 現行の校歌を継承することが1番良いと思う。私の母校は学校が変わって、校歌も新しくなっていると思っていたが、元の校歌が継承されていた。その時に、在校していた時よりも愛着が湧いて懐かしく感じた。
- 校歌というものは、忘れていても聞いたら何となく歌えて、その当時を思い出すものだと思う。現行の校歌を継承する方が良く思う。
- 校歌の音程については、実際に高くても声が出ていない。2部合唱などにして高音と低音に分けて歌うことができれば良いと思う。
- 1年生から9年生までが歌うとなると音域がかなり幅広くなると思う。だからといって、編曲をしてしまうと現行の校歌を知っている人は違和感を覚えると思う。2部合唱のように、高音と低音で分けることができれば良い校歌になりそう。
- 新しく募集をかけて新しい校歌にするよりも、現行の校歌を継承したい。
- 新たに校歌を制作するとなると、予算はどのくらいか。
  - いまのところ予算は決まっていない。どのように制作をするかによって予算額は変わってくると思う。
- 校歌については、第5回会議での継続審議を行う。

### 4 その他

- その他について、資料に沿って説明を行った。(事務局)

9. 配布資料

(1) レジユメ

(2) 第4回碓井中学校義務教育学校開校準備委員会資料